

始



9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

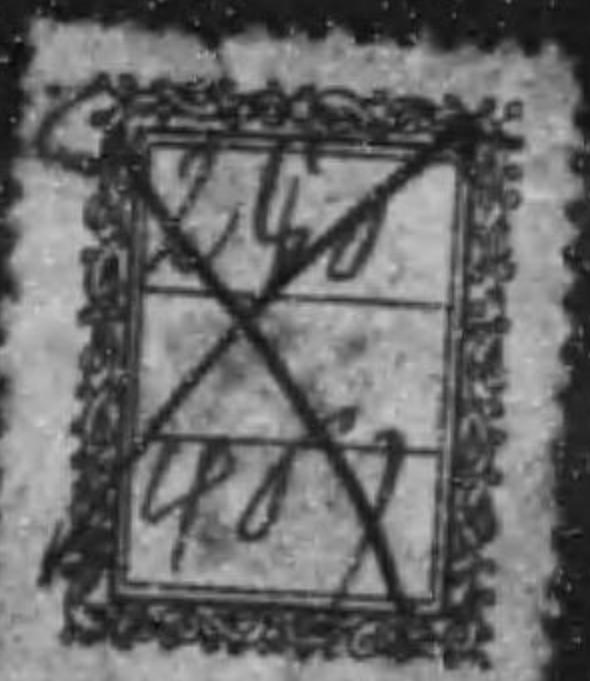
持 1/3

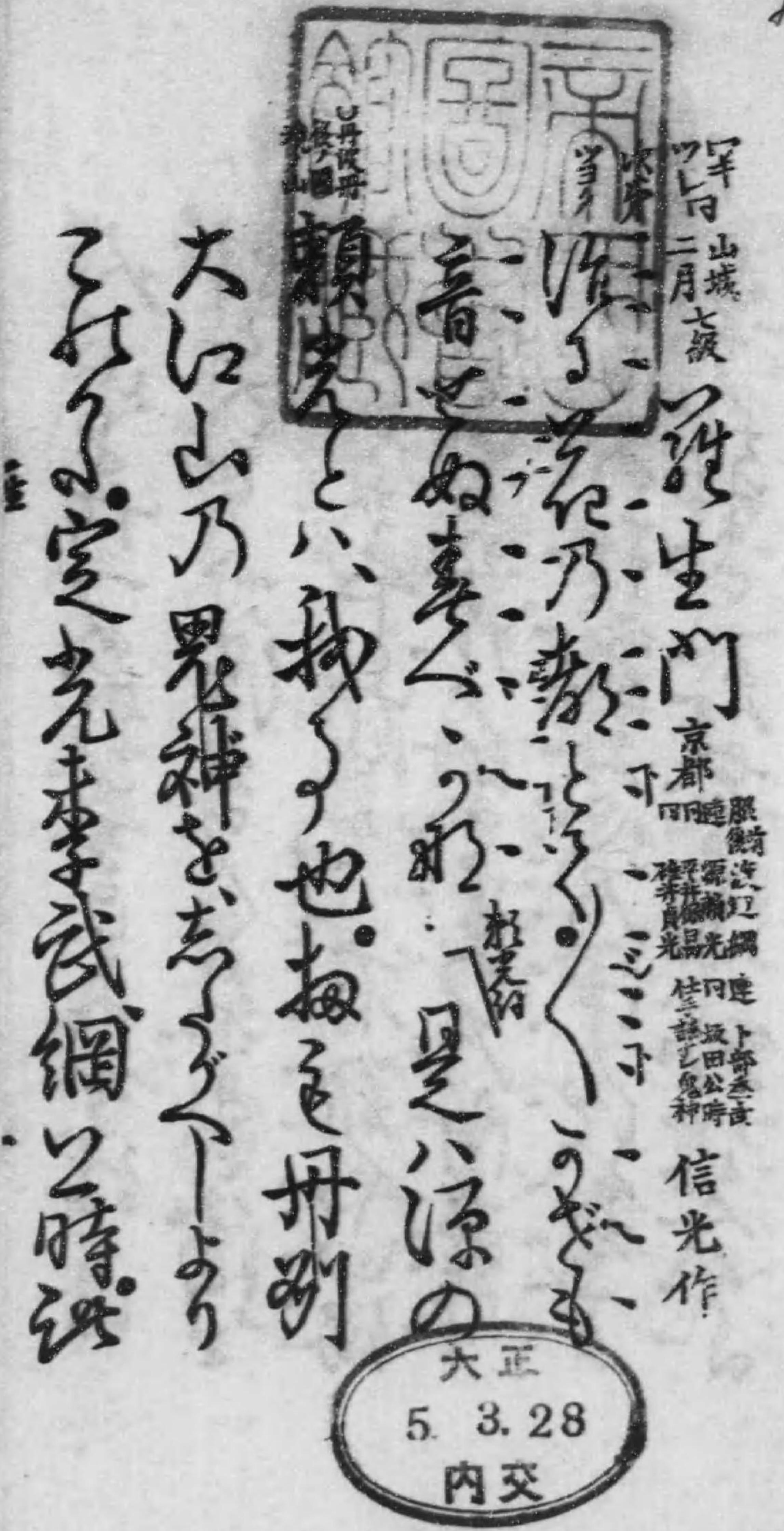
888

羅生門

信光作

資生正流派





人ひととやつて歌うたをすかすばうし
残のこすをよぼすよあきひ酒さけ
さきまま久ひちやとななむ
はやままおもたれれごう乃の内うちおお野の下げ
百もううのや郷ごの意い乃のほほてて舞まい
ままま墨すみああききるる石いし酒さけががくくるる

はやままおもたれれごう乃の内うちおお野の下げ
音おとをを新しんよよかか路じ乃の七しち津つの道みちも
ままままぐぐれれややのの底そこももれれききぬぬ
力ちからををすすぎぎああささりりわわ

ひふ面おもてににうう興おきああまれ
ともともげげままああききすすきき

モモ
思ひまへばよみをまくじ
がくひしりまきや様らやシケ
ほきはゆゆゆれゆくやたき
= 水打

もも
入る言ふと告げ
縁の内乃川湖の事
福井の事
金子金代作
あいひ
獨りかの

宵乃雨是をぞひまく夜の物語
喜び悲しき事無乃おはるは御内
事あらわしに成る乃おはるは御内
テラシハモトキアリ。お面とゆゑと
人どもか。傷ぬ中比キヨレタ
様やもあらむにゆきよす
よりて徳をもつておはるは御内

詮教よめづくこと事ハムキテ
ハさんばれ様の御内門お寧神御
えんご。されが人共通の御
き申作。御内門お寧神御前よりお
詮の事と申さぬづくを流
石は彼羅城門と申す城の南門

あはやだともおも秋の君す
あれどいたるの風を乃翁とせば
ゆとやはだく異作あみ
びと仕立て奉りまほかの御名
ちよと事と承りしが保ほうと
某御前めぐら御ご申とや

まとふ審に写めまじ。承
うきあき放研はん拂つひて世
賢けんはうわくゆくまざ
者と思ひ限つむが在り
に思ひ立たざりをちく第
立とあもひかねふされ

翁論
前乃葉雨よ月ハ秋多雲也
さくらり晴^{アマ}いや保^{ヒサシ}てゆきも^シ
詫^{ハラハラ}めあきれ若^{カニ}御^{ミツ}を君の仕為
申^{スル}を^{シテ}
うきば^{シテ}もと^{シテ}申^{スル}を^{シテ}
うき綱^{ハシナガ}が^{ハシナガ}あぐ^{アグ}い^{ハシナガ}の
は爲^{スル}あいが^{スル}あ^{シテ}と^{シテ}申^{スル}

早^エに
纏^{マタニ}と^{シテ}ぬ^{シテ}ひき^{シテ}め^{シテ}
縛^{マタニ}と^{シテ}ゆ^{シテ}体^{シテ}め^{シテ}り^{シテ}
を^{シテ}ち^{シテ}生^{シテ}立^{シテ}序^{シテ}ア^{シテ}臺^{シテ}
人^{シテ}心^{シテ}を^{シテ}積^{シテ}勇^{シテ}乃^{シテ}安^{シテ}を^{シテ}うる^{シテ}
あ^{シテ}か^{シテ}も^{シテ}こ^{シテ}仕^{シテ}る累^{シテ}を^{シテ}あ^{シテ}ぐ^{シテ}
ま^{シテ}だ^{シテ}一度^{シテ}あ^{シテ}人^{シテ}よ^{シテ}而^{シテ}む^{シテ}

事づれすも、のぞみやうすにありとづかふ
 まほ乃じるさううすとさくわゆか
 やくまきでくわづれくわく
 横幅後遇乃調前うりを刀さん
 ト輪より界が草木あると刀さん
 たみに相乃具と竹の肩よを
 馬ふ打手く金を人きよとめ
 唯下弦、肩所とく手柔
 大之弓、箭がらしてあゆくまを
 起りおはなすあれあるもおひに

謹
 事づれすも、のぞみやうすにありとづかふ
 まほ乃じるさううすとさくわゆか
 やくまきでくわづれくわく
横幅後遇乃調前 うりを刀さん
 ト輪より界が草木あると刀さん
 たみに相乃具と竹の肩よを

更アシタあアリ乃ノミ
鐘ツカニも聞アリ曉アサヒ
おアリ打タケル和ハ音ヨウ
をアリてアリうアリいアリかアリ
のアリ風フウ冷クビ出ハシムる
めアリ出ハシムるアリ狼ヤマハ体トボコ下シタがアリ來アリ
狼ヤマハ來アリてアリ雨ウヂ落ハシムる
狼ヤマハ落ハシムるアリ天アマ下シタきアリてアリ
狼ヤマハ天アマ下シタきアリてアリてアリ

信アリ馬マサニ時トキ乃ノ不アリ壇タケ
上アリ壇タケ上アリ引ハシムく下シタりアリ鬼ヤマハ神ミツメ
鬼ヤマハ神ミツメとアリ刀タケ也アリ也アリ

伊豆守
宿す
おまちり
て風
甲子
ゆうと
あす
投げ
ひる
おま
眼月

日乃
山
綱を
立
マキ下
松上
絹
あらわ
王
木
金
鉢
機を振
上
駄
かま
ちぢみす

どくとくおもてられて細ほりと拂ふ
ぬふうがおおもれてむすびとふ
のうがわざつまふがまよ
あめをけく。あめをけく。
も黒やまね、あめをけく。
しきも黒やまね、あめをけく。
まくまくくまくまく
まくまくくまくまく

声見るまくはゆゆ思ひ
あわすかうすくうすく綱ひらひら
あがみをき

大正二年一月二日印刷
同年一月七日發行

大正五年三月十五日再版

正價壹元
金拾錢

校正者

寶生正流派



正價壹元
金拾錢

長野市上四之門町十二番地
著者兼

發行者

長野市上四之門町十二番地

中澤眞治郎

堂

金印

會

眞

堂

金印

賣捌所 全國各書林

印制所

長野市大門町九十五番地



終